

ELSIワークショップ

2025年
1月11日 (土)

13:00~18:00

当事者と共に 遺伝性腫瘍と PGT-Mを考える



ハイブリット開催

アクセス

オンサイト会場

広島JPビルディング2F

広島大学

きてみんなさいラボ

(登録順25名まで)

オンライン 制限無し



申し込み (URL/二次元コード)

要 事前登録 1月9日12:00まで

<https://forms.office.com/r/DszFzDwJTf>

オンライン参加の方には、
後程、参加URLを送付します。



※ メディア関係の方は、
下記の連絡先メール
アドレスにてお申し
込下さい。

司会・進行



澤井 努

広島大学大学院 人間社会科学研究科
特定教授

講演者



太宰 牧子

NPO法人 クラヴィスアルクス 理事長
(一社)ゲノム医療当事者団体連合会 代表理事

演題: 知ることによって私たちに何ができるの?

～ 医療技術の進歩と制度について当事者目線で考える ～



高橋 しづこ

シンガポール国立大学 リサーチフェロー、産婦人科専門医

演題: 未来のための選択?

～ 産婦人科医と考える着床前診断のこと ～



野口 麻衣子

R Bピアサポートの会 共同代表

演題: 遺伝性腫瘍の着床前遺伝学的検査 (PGT-M)

～ 当事者として感じること ～



飯塚 理恵

広島大学 共創科学基盤センター 特任助教

演題: 遺伝性腫瘍の当事者の倫理学者が考えるPGT-Mの倫理

主催 広島大学共創科学基盤センター

共催 広島大学卓越大学院プログラム
「ゲノム編集先端人材育成プログラム」



連絡先

広島大学共創科学基盤センター
cont-01[at]hiroshima-u.ac.jp